

FIELD MARKETING

OCTOBER 2022

CAREER

Kuriyama R&D Office

本資料は貴社業務の参考資料としての活用に
限定し、社外秘資料として管理して下さい。

INDEX

調査結果	1、2、3、4	無地ニット	27、28
トレンチコート	5	その他のニット	29
ノーカラーコート	6	無地シャツ	30
テーラードコート	7	無地ブラウス	31
フードコート、ステンカラーコート	8	その他のシャツ・ブラウス	32
フーディジャケット	9	カットソーワンピース	33
ワーク・ミリタリージャケット	10	柄ワンピース	34
テーラードジャケット	11	その他のワンピース	35
シャツジャケット、スリーブレスジャケット	12	スキニーパンツ	36、37
ノーカラージャケット、カジュアルブルゾン	13	デニムパンツ	38、39、40
デニムジャケット、ライダース・レザージャケット	14	ストレートパンツ	41
キルティングジャケット、スーツ・セットアップ	15	ワイドパンツ	42
無地カットソー	16、17、18	テーパードパンツ	43
柄カットソー	19、20	その他のパンツ	44
パーカ	21、22	ロング丈スカート	45、46
カットソーカーディガン	23	ミディ丈スカート	47
その他のカットソー	24	その他のスカート	48
ニットカーディガン	25、26	服飾雑貨	49、50

撮影場所：武蔵小杉駅周辺

撮影日：2022年10月20日

撮影時間：8:00~10:00

天気：晴 最高気温 19.9度 最低気温 10.7度 平均気温 15.4度

サンプル数：320

調査結果

大分類	中分類	小分類	着数	大分類構成比	中分類構成比
アウター	コート	トレンチコート	14	7.6%	22.6%
		ノーカラーコート	14	7.6%	22.6%
		テーラードコート	13	7.1%	21.0%
		フードコート	11	6.0%	17.7%
		ステンカラーコート	9	4.9%	14.5%
		ショールカラーコート	1	0.5%	1.6%
		合計	62	33.7%	100.0%
	ジャケット	フィーディージャケット	24	13.0%	19.7%
		ワーク・ミリタリージャケット	14	7.6%	11.4%
		シャツジャケット	14	7.6%	11.4%
		テーラードジャケット	11	6.0%	9.0%
		スリーブレスジャケット	9	4.9%	7.4%
		ノーカラージャケット	9	4.9%	7.4%
		カジュアルブルゾン	8	4.3%	6.6%
		デニムジャケット	8	4.3%	6.6%
		ライダース・レザージャケット	8	4.3%	6.6%
		キルティングジャケット	7	3.9%	5.7%
		スーツ・セットアップ	7	3.9%	5.7%
		ボアブルゾン	3	1.6%	2.5%
		合計	122	66.3%	100.0%
合計	184	100.0%	—		

調査結果

大分類	中分類	小分類	着数	大分類構成比	中分類構成比
トップス	カットソー	無地カットソー	71	28.3%	45.2%
		柄カットソー	32	12.7%	20.4%
		パーカ	32	12.7%	20.4%
		カットソーカーディガン	14	5.6%	8.9%
		襟付きカットソー	5	2.0%	3.2%
		カットソーベスト	3	1.2%	1.9%
		合計	157	62.5%	100.0%
	ニット	ニットカーディガン	24	9.5%	45.3%
		無地ニット	21	8.4%	39.6%
		柄ニット	5	2.0%	9.4%
		ニットベスト	3	1.2%	5.7%
		合計	53	21.1%	100.0%
	シャツ&ブラウス	無地シャツ	20	8.0%	48.8%
		シアーシャツ	2	0.8%	4.9%
		柄シャツ	1	0.4%	2.4%
		無地ブラウス	13	5.2%	31.7%
		柄ブラウス	5	2.0%	12.2%
		合計	41	16.4%	100.0%
	合計	251	100.0%	—	

調査結果

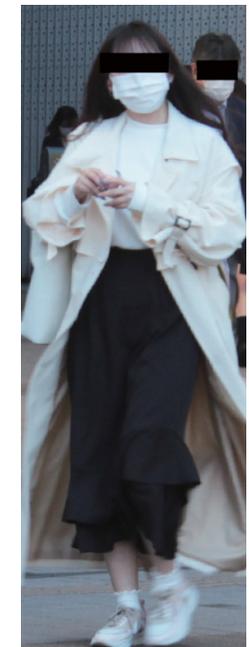
大分類	小分類	着数	全体構成比
ワンピース	カットソーワンピース	11	35.5%
	柄ワンピース	10	32.3%
	無地ワンピース	5	16.1%
	キャミソールワンピース	3	9.7%
	ニットワンピース	2	6.4%
	合計		31

調査結果

大分類	中分類	小分類	着数	大分類構成比	中分類構成比
ボトムス	パンツ	スキニー	68	23.6%	31.0%
		デニム	53	18.4%	24.2%
		ストレート	41	14.2%	18.7%
		ワイド	33	11.5%	15.1%
		テーパード	21	7.3%	9.6%
		カーゴ	2	0.7%	0.9%
		ショート	1	0.3%	0.5%
		合計	219	76.0%	100.0%
	スカート	ロング丈	38	13.2%	55.1%
		ミディ丈	27	9.4%	39.1%
		ニーレングス	3	1.0%	4.3%
		ミニ丈	1	0.4%	1.5%
		合計	69	24.0%	100.0%
	合計		288	100.0%	—

■ トレンチコート

- 2021年10月リサーチのサンプル数は310名でそのうちアウター着用率は65.5%だった。今シーズンのサンプル数は320名でそのうちアウター着用率は57.5%だった。調査日、天候条件などはほぼ同じであり、今シーズンは前年と比較するとアウター着用者が減少していたことが分かった。
- 次にアウターのうちコートとジャケットの比率は、2021年10月はコート31%、ジャケット69%だったのに対し、今シーズンは、コート33.7%、ジャケット66.3%という結果だった。コート着用者がやや増加したが大きな変化は見られなかった。
- コートでは、トレンチコート、ノーカラーコートがともに14名ずつで同数だった。
- トレンチコートでは、ヤングに多いリレーズシルエットのロング丈コートのほか、オーセンティックなジャケットタイプやひざ上丈のコート着用者も多かった。
- カラーは、オフホワイト、ベージュなどのベーシックなカラーが多く、パステルカラーなどのカラートレンチはあまり見られなかった。



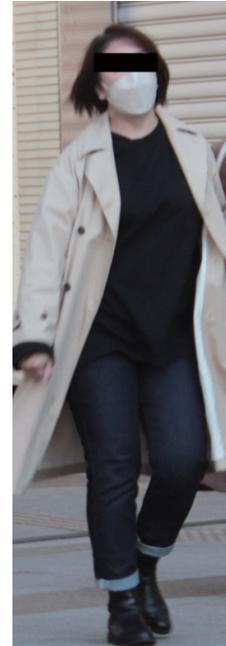
■ ノーカラーコート

- ・ 今シーズンのリサーチではノーカラーコートもトレンチコートと並んで着用者が多いアイテムとなっていた。
- ・ 紡毛素材を使用したUネック、Vネックのノーカラーコート着用者が多かった。カラーはオフホワイトやライトグレー、ベージュなどのベーシックカラーが多かった。
- ・ 綿素材やキルト素材を使用したカジュアルなノーカラーコートも見られた。カラーはベージュやカーキなどのカラーが多かった。



■ テーラードコート

- 2021年10月のリサーチでも同じ結果だったが、秋のコートでは、トレンチコート、ノーカラーコート、テーラードコート、フードコート、ステンカラーコートの5つのアイテムが、比較的均一に着用されており今シーズンも同様の結果となった。
- 今シーズンは、トレンチコート、ノーカラーコートが各14名、テーラードコートが13名、フードコートが11名、ステンカラーコートが9名という結果だった。
- テーラードカラーコートもコットン素材を使用したものと、ウール素材を使用したものが見られた。
- シルエットはルーズシルエットが多く、レングスはひざ下丈のコートが多く着用されていた。



■ フードコート

- ・ フード付きコートに関してもウール素材を使用したものと綿やナイロン素材によるユーティリティなコートの2タイプの着用が見られたが、後者が多かった。
- ・ アノラックやマウンテンパーカの丈が長いタイプが多く着用されていた。
- ・ カラーは、ベージュやカーキが多かったが、一部、ブルーなどのカラーの着用も見られた。



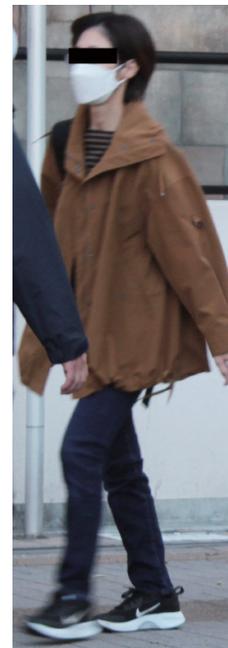
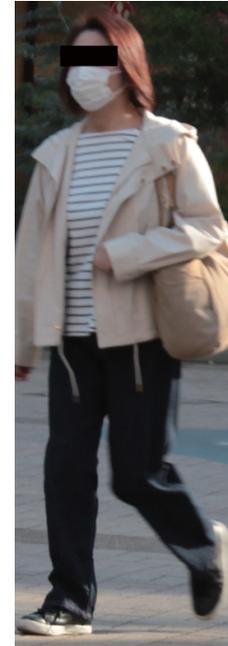
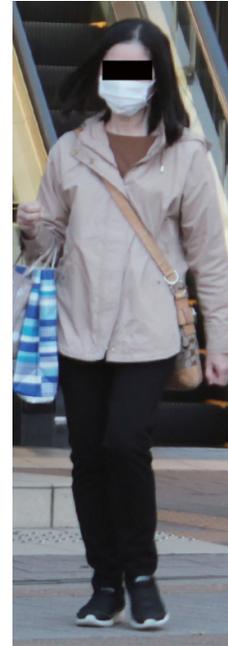
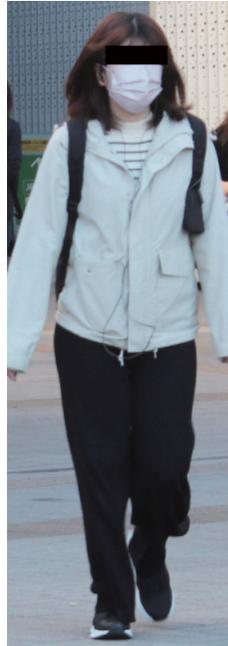
■ ステンカラーコート

- ・ ステンカラーコートは2021年10月のリサーチでは14名の着用だったが今シーズンは9名と着用者の減少が見られた。
- ・ 2022年1月のリサーチでは紡毛ウール素材のステンカラーコートの着用が多かったが、今回は秋物ということもあり、綿素材や合繊複合素材と思われる素材が活用されていた。
- ・ カラーはベーシックカラーが中心だが、オレンジやブルーなどのカラーコートの着用も見られた。



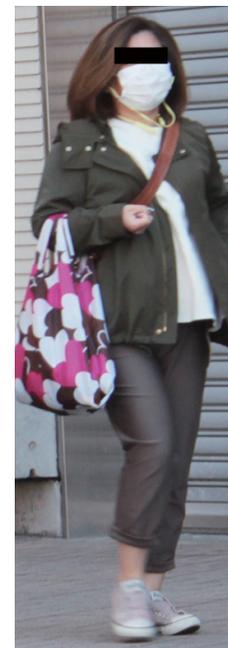
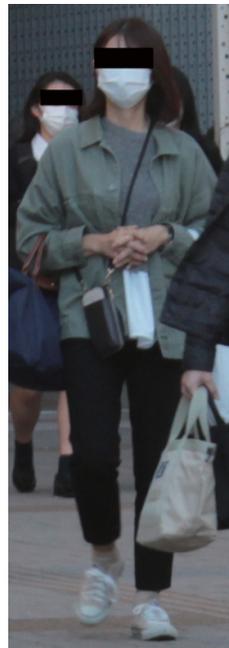
■ フーディジャケット

- 前回までは、アイテム名をマウンテンパーカとしていたが、今シーズンはマウンテンパーカ以外のフード付きカジュアルジャケットが増加したため、アイテムをフーディジャケットとした。
- 2021年10月のリサーチでは着用者25名で、着用率1位だった。今シーズンも着用者は24名で1位となっていた。
- 素材はソフトな風合いの綿素材のほか起毛されたポリエステル素材などの着用も見られた。
- カラーはブラックの着用も見られたが、全体的にはベージュやキャメルなどのブラウン系カラーの着用者が多く見られた。
- デテールはユーティリティ性が重要であり、スピンドル、止水ファスナーなどのジップアクセント、ベルクロ、フラップポケットなどが使われていた。



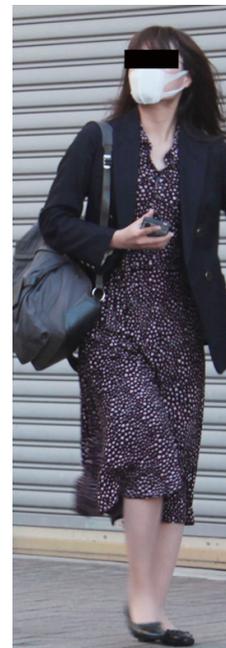
■ ワーク・ミリタリージャケット

- 2021年10月の調査では16名の着用で3位だったワーク・ミリタリージャケットは、今シーズンの着用率は2位だったが着用者数は14名で減少していた。
- このアイテムにもマウンテンパーカタイプが含まれるが、そのほか、MA1やワークジャケットなどデザインバリエーションはさまざまであった。
- カラーは、グリーンやカーキ、ブラウンなどミリタリーテイストのカラーが使われていた。



■ テーラードジャケット

- 2021年10月のリサーチで抽出されたジャケットアイテムは10アイテムであり、今シーズンのリサーチ結果と照合すると10アイテム全てが今シーズンも出現していた。ただし、2021年10月のリサーチにはなかったアイテムで今シーズン抽出されたアイテムが2アイテムあり、それは、キルティングジャケットとスリーブレスジャケットだった。アウターデザインのバリエーションがさらに拡大していた。
- テーラードジャケットでは、トレンドのショート丈ジャケットの着用はわずかで大半がヒップ丈前後のロング丈だった。また、ダブルブレスト、シングルブレストの両方が着用されていたが、シングルブレストの方が多かった。
- カラーは、ブラック、ネイビー、ブラウンなどの濃色と、ベージュやグレーなどの淡色が着用されていた。



■ シャツジャケット

- 2021年10月のリサーチでは18名の着用が見られたシャツジャケットだが、今シーズンは14名の着用となっていた。
- 秋物ということで、コットン素材のほか、ボアや起毛された素材も見られた。無地が多かったが、先染めチェックの着用も見られた。
- ルーズシルエットでパンツをコーディネートしたデイリーでリラックスした雰囲気スタイルが多く見られた。



■ スリーブレスジャケット

- 2021年には見られなかったスリーブレスジャケットの着用者が今シーズンは9名見られた。背景としては、今春のヒットアイテムとなったスリーブレスジャケットが秋にも継続されたことと、さらに秋物で新たにファーベストやダウンベストへの注目度が高まったことによると考えられる。
- このように様々なスリーブレスジャケットの台頭が見られ、この傾向は2023年春の市場に大きな影響を与えると考えられる。スリーブレスアイテムのバリエーションとレイヤードなどのコーディネート提案の重要性がますます高まることが予想される。



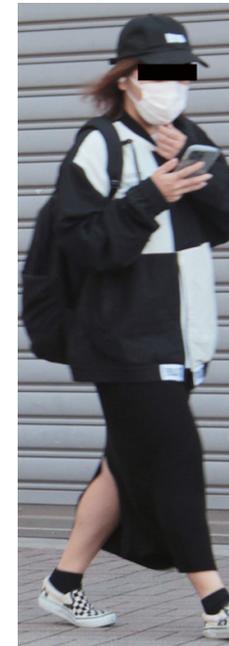
■ ノーカラージャケット

- ・ ノーカラージャケットは 2021 年 10 月リサーチでの着用者が 8 名であったのに対し、今シーズンの調査では 9 名の着用が見られた。
- ・ コレクションで注目されたシャネル調のファンシーツイードを使用したメタル釦付きジャケットも見られたが、デザインはバリエーション豊かになっており、シンプルなウール素材を使用したものからカジュアルな綿素材を使用したものまで着用されていた。



■ カジュアルブルゾン

- ・ 2021 年 10 月のリサーチで着用者が 9 名だったカジュアルブルゾンは、今シーズンの調査では 8 名の着用とほとんど変化は見られなかった。
- ・ デザイン面では MA1 タイプのナイロン素材などを使用したブルゾンやメルトン素材によるスタジアムジャンパータイプのデザインなどが着用されていた。
- ・ スタイリングでは、パンツよりスカートをコーディネートする人が多くテイストミックスの着こなしが行われていた。



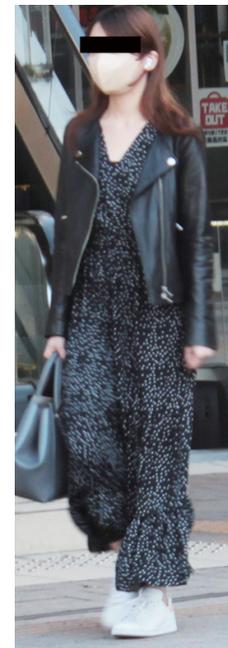
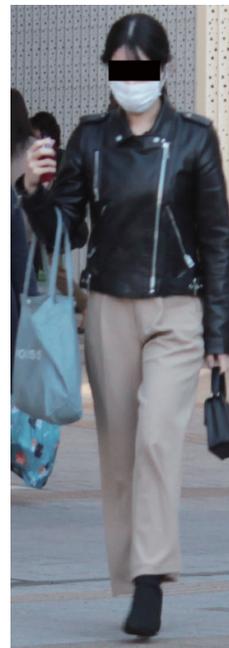
■ デニムジャケット

- 2021年10月のリサーチでは11名の着用だったが、今シーズンのリサーチでは8名と着用者数が減少していた。
- デニムジャケットはトレンドアイテムとしての注目度が高く、店頭でも見られたが、着用には結びついていなかった。
- デザインはジージャンタイプからシャツジャケット、パッチワークジャケットなどさまざまなデザインが着用されていた。



■ ライダース・レザージャケット

- 2021年10月のリサーチでは16名の着用が見られたが、今シーズンはわずか8名と半減していた。
- コレクションでも注目アイテムとなっており、秋の店頭でも数多く見かけたが、着用には結びついていなかった。毎シーズン登場するアイテムであり、定番の位置づけで見る必要があると思われる。
- ブラックのレザーライダースが多かったが、ブラウンの着用も見られた。



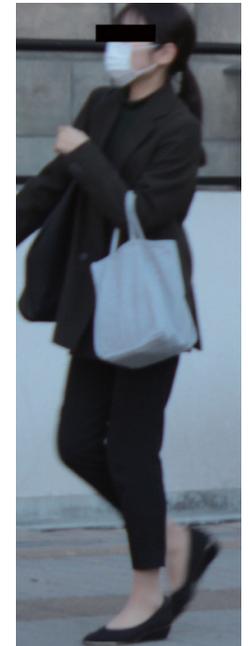
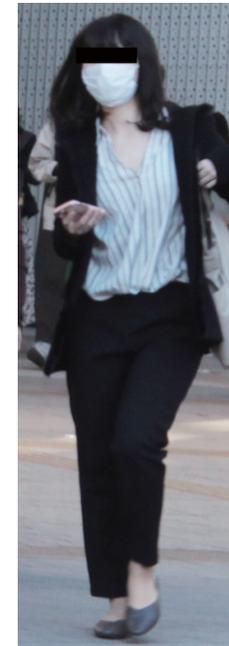
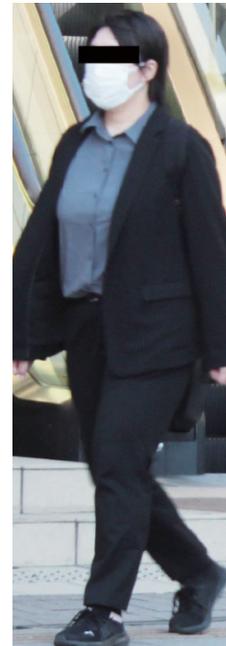
■ キルティングジャケット

- 2021年10月の調査では、その他のジャケットで一人の着用に使っていたキルティングジャケットだが、今シーズンは7名の着用が見られた。気温の違いはほとんど見られなかったことから、店頭展開が増加したことで、実需の着用に結び付いたと思われる。
- ノーカラーのライトジャケットからロング丈のジャケットまでレングスは様々だった。
- カラーは、ブラック、カーキ、ホワイト、ベージュなどベーシックカラーのバリエーションが見られた。



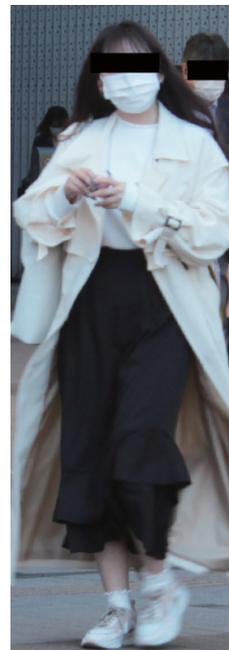
■ スーツ・セットアップ

- 2021年10月のリサーチで7名の着用だったスーツ・セットアップは今シーズンも同様の7名が着用していた。ブラックが大半で前年に続いてパンツセットアップが着用されていた。
- パンツシルエットはテーパードシルエットが多かったが、カットレングスのパンツ着用も見られた。



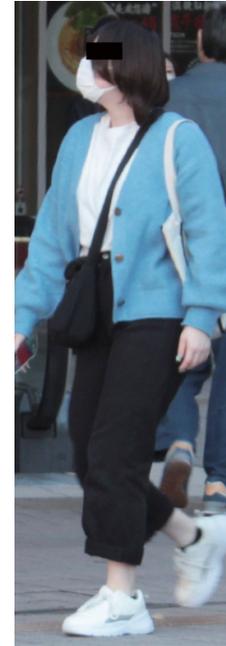
■ 無地カットソー①

- トップス全体について。2021年10月のリサーチにおけるトップスは、カットソー106名、ニット103名、シャツ17名、ブラウス30名という結果だった。今シーズンは、カットソー157名、ニット53名、シャツ23名、ブラウス18名という結果だった。この結果、カットソーの着用者が大幅に増加した一方、ニットの着用者は半減したことが分かった。
- カットソーの中では無地のカットソー着用者が2021年10月の30名から今シーズンは75名と、大幅な増加となっていた。考えられる理由としては、インナー着用のニットが減少し、インナーでカットソーを着用する人が増加していることが考えられる。
- デザイン面などでの新しい傾向は見当たらなかった。
- 無地カットソーではインナーとしての着用が多く、カジュアルなアウターアイテムからエレガントなアウターアイテムまで、さまざまなアウターのインナーとして着用されていた。
- カジュアルなアウターとのコーディネートでは長めのTシャツで裾レイヤードの着こなしが多く見られた。
- カラーはホワイトが最も多く、そのほかベージュ、ブラウン、グレー、ブラックなどのベーシックカラーが着用されていたが、ビビッドカラーの着用などは少なかった。



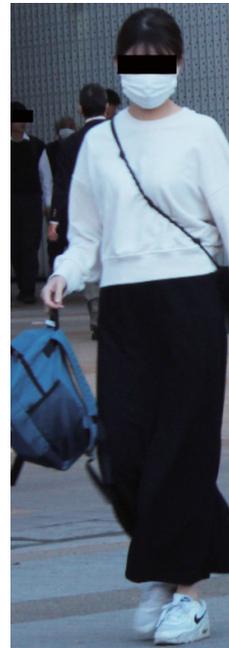
■ 無地カットソー②

- インナー着用のカットソーではアウターのほか、ニットカーディガンやベストのインナーとしての着用も数多く見られた。
- カラーはホワイトが多く、デザインはシンプルな長袖のクルーネックTシャツが多く着用されていた。
- コレクションでもベーシックアイテムをシーズンレスに着用するような提案が見られており、上質なベーシックへのニーズが高まっていると思われる。



■ 無地カットソー③

- 単品トップスとしてのカットソー着用では、Tシャツのほか、スウェットが数多く着用されていた。
- コンパクトシルエットは少なく、ルーズなボリュームシルエットが多く着用されていた。
- 一部、ボトルネックなどの衿変化が見られたが大半はベーシックなクルーネックだった。
- カラーは、ホワイト、ブラックが多くネイビー、ブラウンなどのダークカラーの着用が見られたが、ブライトカラーやパステルカラーなどの着用はわずかだった。



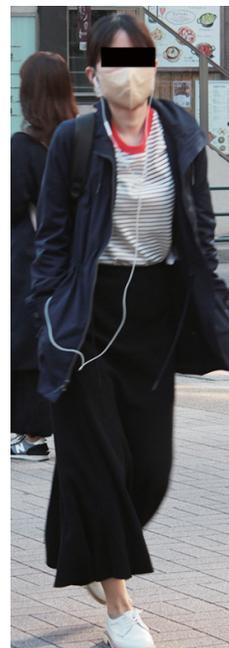
■ 柄カットソー①

- カットソーのTシャツやスウェットでは、フロント部分にグラフィックプリントやタイポグラフィプリントを施したものも多く着用されていた。
- カレッジテイストのスウェットも多く着用されていた。
- 新型コロナウイルスが流行してからは、テレワークなどが増加したこともあり、カジュアル化やデイリー化がキャリアファッションでも増加した。今秋は、テレワーク率が低下し、通勤スタイルにも変化が生じると予想されたが、今回のリサーチでは、通勤スタイルのカジュアル化が継続していると思われた。



■ 柄カットソー②

- 柄もののカットソーではボーダーTシャツの着用者も多く見られた。2021年秋物以降、ヒットアイテムとなったボーダーだが、今秋の店頭展開では減少していた。一方、着用者は多く見られた。ヤングでは、着用者が減少しており、ヤングとキャリアの違いが明確となった。
- 単品トップスとしての着用より、無地アウターのインナーとしての着用が多く見られた。
- マルチカラーボーダーなどは見られず、シンプルなバイカラーボーダーが多く着用されていた。



■ パーカ①

- パーカの着用者は 32 名でカットソー着用者の 20.4% という結果だった。2021 年 10 月のリサーチは 34 名だったことから、同じような結果となっていた。
- パーカではプルオーバータイプが多く、フルジップタイプの着用者は少なかった。
- インナーとしてレイヤードで着用する人も見られたが、単品トップスとしての着用が多かった。
- ヤングで多く見られるロング丈パーカの着用者も見られた。
- カラーは、ホワイト、グレー、ネイビー、ブラックなどのベーシックカラーが多かった。少数ではあるが、オレンジやイエロー、ブルー、レッドなどのカラーパーカの直用も見られた。



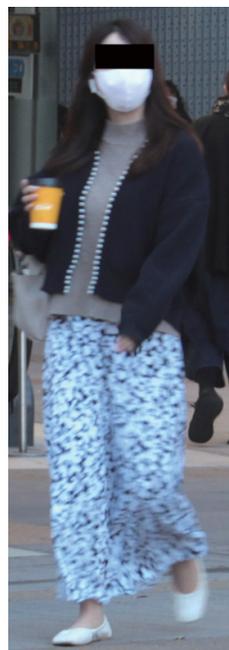
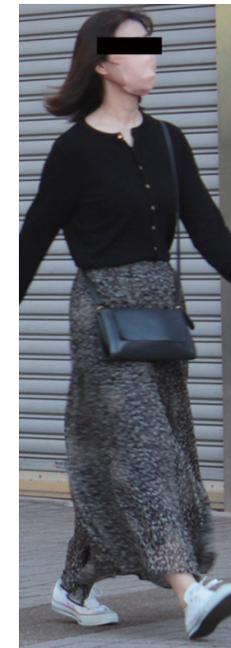
■ パーカ②

- パーカとしては少数派ではあるが、フロントフルジップのパーカ着用者も見られた。着脱が容易なためカーディガン同様、汎用性のあるアイテムとして着用されていると考えられる。
- レギュラーシルエット、ルーズシルエットの着用が見られた。
- カラーはベーシックカラーが多く着用されていた。



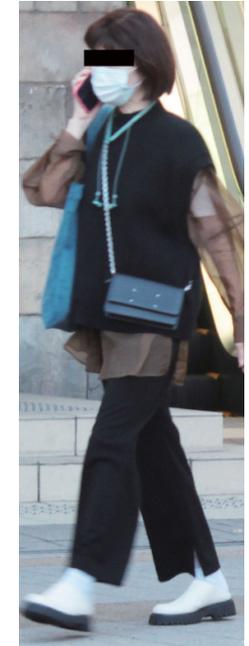
■ カットソーカーディガン

- 2021年10月のリサーチではほとんど見られなかったカットソーカーディガンが今シーズンは14名見られた。
- ニットカーディガンと同じような薄手のカーディガンが着用されていたが、春物で登場した裏毛などの中肉を使用したクルーネックのカーディガンが今シーズンも着用されていた。春物ではグリーンが目立ったが、今シーズンもグリーンやレッドの着用が見られた。



■ その他のカットソー

- そのほか、カットソーベストやカットソージップアッププルオーバーの着用が見られた。
- ジップアッププルオーバーはニットでも見られるアイテムとなっていた。
- ルーズシルエットでリラクスムードのスタイリングで着用されていた。
- カラーはオフホワイト、ネイビーなどベーシックカラーで着用されていた。



■ ニットカーディガン①

- 2021年10月のリサーチと比較すると大幅に着用者が減少したニットだが、アイテム別に見ると、2021年はプルオーバーが最も多く60名、続いてカーディガンが34名の着用となっていた。ところが、今シーズンは1位がカーディガンで24名、無地プルオーバーは2位で21名という結果となっています。
- カーディガンでは、ファインゲージのニットカーディガンの着用は少なく、ミドルゲージのウールカーディガンが多く着用されていた。
- レングスはヒップ丈前後のベーシックなレングスのほかロング丈カーディガンも着用されていた。
- ケーブルなど、無地の編地変化ニットのほか、ジャカードのカーディガンの着用も見られた。
- ヤーンは紡毛のストレートヤーンのほか、ツイード調のファンシーヤーンやトップヤーン、ヘアリーヤーンなどが着用されていた。



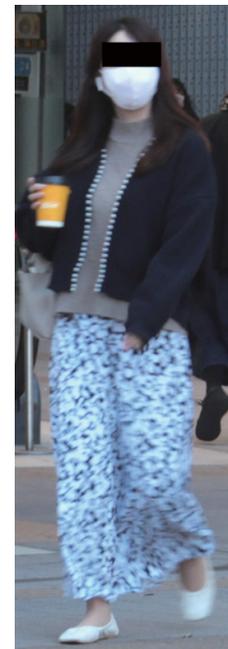
■ ニットカーディガン②

- レギュラーレングスのほか、ロング丈のカーディガンの着用も見られた。
- カラーはブラックを中心にオフホワイトやベージュなどのベーシックカラーが着用されていた。
- スカートとのコーディネートは見られず、すべてパンツとのコーディネートが行われていた。



■ 無地ニット①

- 2021年10月のリサーチで60名の着用が見られた無地のニットプルオーバーが、今シーズンのリサーチでは21名に減少していた。
- 今シーズンもインナーとしての着用、単品トップスとしての着用の両方が見られた。
- インナーとしての着用では、ファインゲージのベーシックニットの着用が前年と比較すると減少していると思われた。
- その結果、ミドルゲージのプルオーバーが目立っていた。ケーブルなどの編地変化ニットが多く、カラーは、オフホワイトを中心にベーシックカラーの着用が多く見られた。



■ 無地ニット②

- 単品トップスとしてニットプルオーバーを着用する人は、2021年の16名から10名に減少していた。
- 他のアイテムと比較すると、カラーバリエーションが豊かで、ホワイト、グレー、ブラックなどのベーシックカラーに加え、パステルのイエロー、グリーン、オレンジなどの着用が見られた。一方、2021年で多く着用されていた、ブライトカラーのニットプルオーバーは見られなかった。店頭では、キャリアブランドで今シーズンもブライトカラーニットの提案は多く見られた。



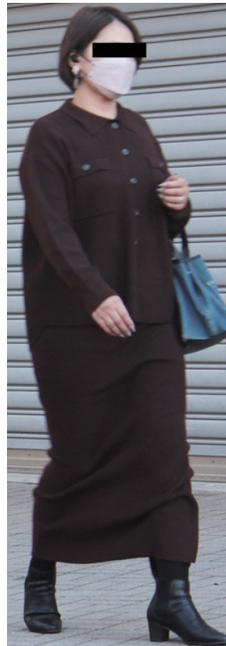
■ その他のニット

- そのほか、着用者はわずかだが、総柄ニットやニットベストの着用も見られた。



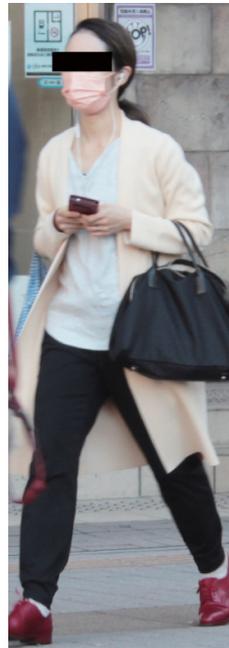
■ 無地シャツ

- シャツ、ブラウスの着用結果は、2021年10月はシャツ17名、ブラウス30名であったのに対し、今シーズンは、シャツ23名、ブラウス18名という結果となった。このことから、シャツの着用者は増加し、ブラウスの着用者は減少したことが分かった。ここでも今秋の予測に反して、エレガンス系のアイテムが減少し、カジュアル系のアイテムが増加する結果となった。
- 無地のシャツも2021年10月の12名から、今シーズンは20名に着用者の増加が見られた。
- ホワイトの着用が多く見られたが、次いで、ライトブルーやサックスブルーの着用者も多く見られた。
- インナーとしての着用が多く、単品トップスとしての着用者も見られたが少数だった。



■ 無地ブラウス

- 2021年10月のリサーチで24名の着用が見られた無地ブラウスは、今シーズンのリサーチでは13名に減少していた。
- インナーとしての着用が多く、襟もとにフリルやラッフルをあしらったブラウスの着用が多かった。2021年に多かった、クルーネックのプルオーバーブラウスは継続しているもの着用者は減少していると思われた。
- カラーはホワイトが多く、その他では、ライトグレーやベージュ、スモーキーパステルカラーのブラウスが着用されていた。



■ その他のシャツ・ブラウス

- 無地のシャツ、ブラウスのほか、柄物のシャツやブラウスの着用も見られた。
- 着用者は少数で、柄傾向などは見られなかった。
- 一部、シアー素材のチュニックシャツの着用者が見られた。



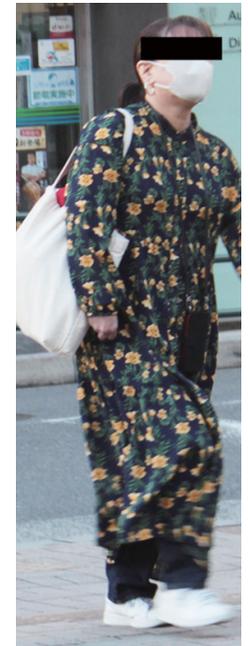
■ カットソーワンピース

- ワンピース全体の着用者は 31 名で、2021 年 10 月のリサーチと同じ人数だった。カットソーワンピースは、2 年連続でワンピースの着用率 1 位となっていた。
- ひざ下丈のサックドレスタイプが多く見られた。
- ワンピースとしての着用のほか、パンツを履いたレイヤードアイテムとしての着用も多く見られた。
- ヤングで見られたミニ丈やスリムシルエットのワンピースは着用されていなかった。



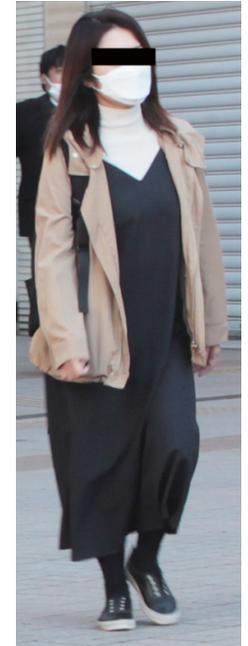
■ 柄ワンピース

- 柄もののワンピースは 2021 年 10 月のリサーチでは 5 名の着用だったが、今シーズンは 10 名に増加していた。
- 小花柄などの総柄ワンピースが多く、先染めやレースのワンピース着用は見られなかった。
- ホワイトやパステルベースのプリントと、ブラックやダークカラーベースのプリントの 2 タイプが着用されていた。



■ その他のワンピース

- そのほか、布帛素材のプレーンなワンピースやシャツワンピース、ニットワンピースなどの着用が見られたが、いずれも着用者は数名程度となっていた。
- シャツワンピースではカジュアルなコットン素材やダンガリー素材が使用されており、コーディネートでは、スリムパンツとのレイヤードも見られた。
- ミニ丈などは見られず、大半がミディ丈のワンピースだった。



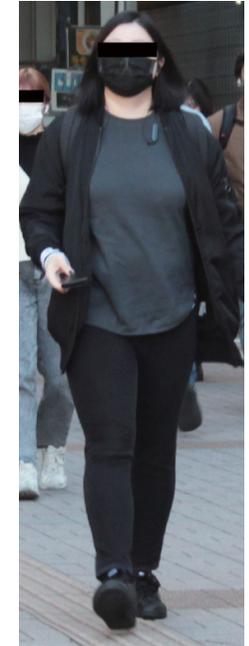
■ スキニーパンツ①

- ボトム構成比では、2021年10月のリサーチでは、パンツ75.6%、スカート24.4%だったのに対し、今シーズンは、パンツ76%、スカート24%とほとんど同じ着用率だった。この結果、継続してパンツ着用者が多く、キャリアスタイルのカジュアル化が継続していることが分かった。
- スキニーパンツは、2021年10月のリサーチで着用者が64名で最も多かったが、今シーズンのリサーチでも着用者は68名で最も着用者の多いアイテムとなっていた。背景には、自転車通勤者などもあることから機能性を重視している人が多いためだと考えられる。
- カラーは、定番となっているブラックが最も多く、次いでホワイトが着用されていた。そのほか、ブラウンやグリーンなどのカラーの着用も見られた。



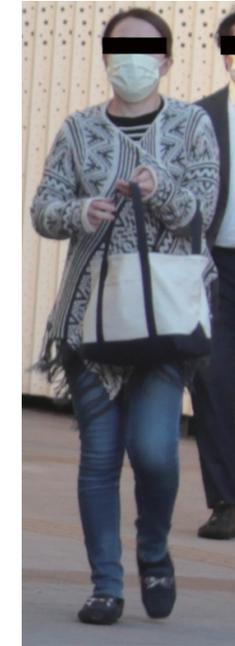
■ スキニーパンツ②

- スキニーパンツでは、ストレッチ性に優れた素材を使用したレギンスやレギパンなどのスリムパンツの着用者も多かった。
- このアイテムでは、ホワイトのパンツ着用者は少なく、ブラックの着用者が大半となっていた。そのほかでは、ブルーやグリーンなどのカラーの着用が見られた。



■ デニムパンツ①

- デニムパンツは、2021年10月のリサーチでは、パンツ着用率2位で47名の着用が見られたが、今シーズンのリサーチでは6名多い、53名の着用が行われていた。
- デニムパンツの中でも、スリムシルエットのパンツ着用者が最も多かった。
- ライトブルーのウォッシュデニムから濃色のインディゴデニムまで、さまざまな濃度のデニムが着用されていた。
- デニムのスリムパンツではスニーカーを履いている人の比率が非常に多かった。



■ デニムパンツ②

- デニムパンツでは、2020年から増加傾向にあるストレートシルエットパンツの着用も多く見られた。
- ストレートシルエットのデニムパンツでは、ブラックデニムの着用も見られた。
- クラッシュデニムやペイントデニムなどの加工デニムは見られず、全体的にキレイ目でシンプルなデニムパンツの着用者が多く見られた。



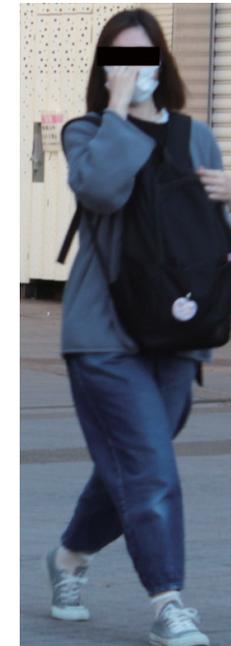
■ デニムパンツ③

- デニムパンツでもワイドシルエットの着用が多数見られた。
- スキニーデニムやストレートデニムと比較すると、濃色のデニムは少なくライトブルーデニムが多く着用されていた。
- ヤングの一部で見られたようなローライズデニムは見られず、大半がジャストウエストとなっていた。



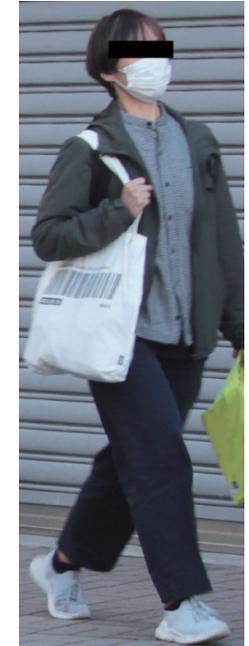
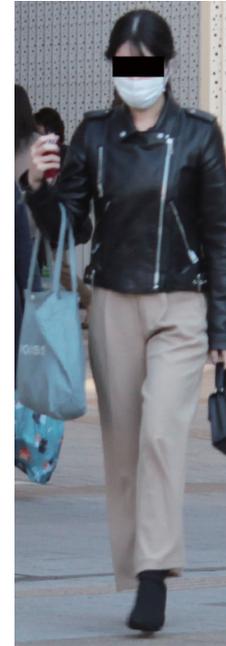
■ その他のデニムパンツ

- その他のデニムパンツでは、ヒップにゆとりがあり、裾幅の狭いテーパードシルエットの着用者が見られたほか、わずかだが、フレアデニムパンツの着用も見られた。



■ ストレートパンツ

- 2021年秋の研究におけるストレートパンツの着用者は37名だったのに対し、今シーズンの研究では41名の着用が見られた。
- カジュアルなコットン素材の着用も見られたが、ドレープ性のある合繊素材を使用したストレートパンツの着用者が多く見られた。
- ベージュやブラックのほかグリーンやラベンダーなどのカラーパンツの着用も見られた。
- 無地のほか、縞柄プリント、ストライプ、先染めチェックなどの柄パンツの着用も見られた。



■ ワイドパンツ

- 2021年10月のリサーチでワイドパンツの着用者は34名だったのに対し、今シーズンの着用者は33名でほとんど変わりがなかった。
- 素材は、コットンのカジュアルな素材と、ドレープ性のある合繊素材の両方が見られた。
- カラーはブラックが最も多く、次いでホワイトやベージュなどが着用されていた。また、ブルーやピンクなどのカラーパンツの着用も見られた。
- 無地が大半だったが、先染めチェックのワイドパンツ着用もわずかだが見られた。



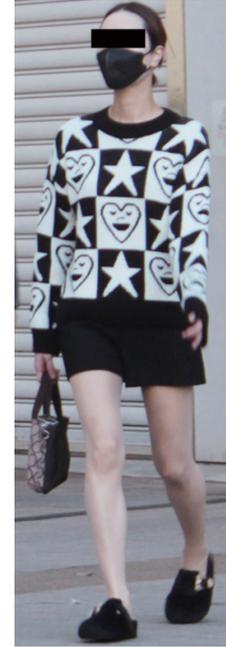
■ テーパードパンツ

- テーパードパンツは2021年10月リサーチの着用者が17名、今シーズンのリサーチでは4名多い21名の着用が見られた。
- パンツの着用率上位5アイテムは、スキニーパンツ、デニムパンツ、ストレートパンツ、ワイドパンツ、テーパードパンツの5アイテムで、着用率順位は2021年10月のリサーチ結果と同じだった。
- テーパードパンツのカラーはブラックが多く、梳毛素材の着用が見られたが、コットンツイルなどの綺麗なコットン素材も多く見られた。その他のカラーでは、ベージュ、セイジグリーンなどのベーシックカラーが着用されていた。
- 無地が多かったが、先染めチェックやストライプなどの柄パンツの着用も見られた。



■ その他のパンツ

- そのほか、着用者はわずかだが、ヤングで人気のカーゴパンツやショートパンツの着用も見られた。



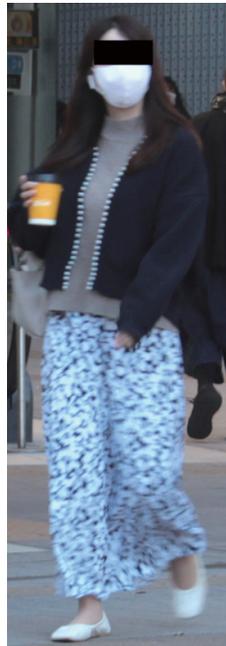
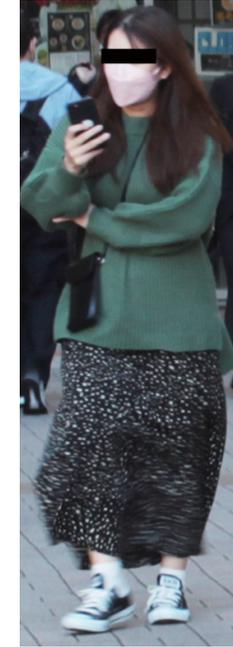
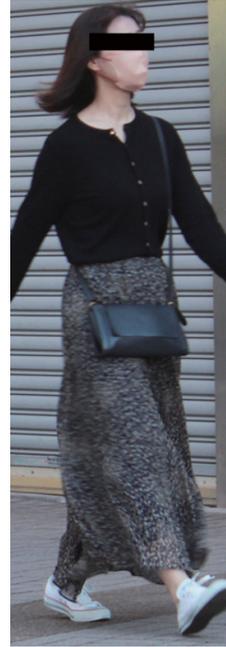
■ ロング丈スカート①

- ・ スカートの着用者は2021年10月のリサーチと比較すると66名から今シーズンは3名の増加が見られた。パンツ対スカートの比率ではスカート着用率は減少していたが、総数ではワンピースの着用者が減少したために、実質的なスカートの着用者は微増となった。
- ・ ロングスカートは2021年10月のリサーチの着用者30名から、今シーズンは38名に増加していた。
- ・ ロングスカートではフレアーシルエットが多いものの、2021年と比較すると、マーメイドシルエット及びタイトシルエットのスカートの着用者が増加していた。
- ・ フレアスカートでは、今シーズンの店頭で増加しているティアードスカートの着用者も多く含まれていた。
- ・ カラーは、ブラックをはじめとしたダークカラーが多くホワイトの着用も見られた。
- ・ 合繊素材が多く活用されていたほか、デニムの着用者も見られた。



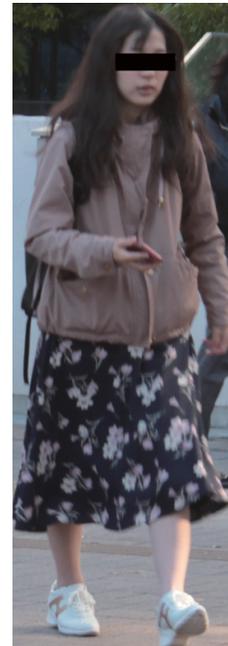
■ ロング丈スカート②

- ロングスカートでは、無地のほか、柄物のスカートも多数着用されていた。
- 柄傾向としては、ホワイトベース、ブラックベースの小花柄やドット柄、ボタニカル柄などが多く、先染めストライプ柄なども着用されていた。
- 素材は、合繊素材が多く使用されていた。



■ ミディ丈スカート

- ミディ丈スカートは2021年10月、今シーズン共に、27名の着用者だった。
- 素材は、カジュアルなコットン素材からウールの梳毛素材、合繊素材などさまざまな素材が活用されていた。
- フレアーシルエットのスカートが主流だが、タイトスカートやマーメイドスカートの着用も多数見られた。
- 無地のほか、小花柄やコレクションで増加していた中花柄、先染めチェック柄などが着用されていた。



■ その他のスカート

- そのほか昨年まで見られなかった、ニーレングススカートやミニスカートの着用も見られた。
- ニーレングススカートは3名中2名がレーススカートだった。



BAG

ショルダーバッグ	83	32.2%	リュック	77	30.0%
トートバッグ	67	26.1%	ハンドバッグ	30	11.7%

合計 257

ショルダーバッグ



リュック



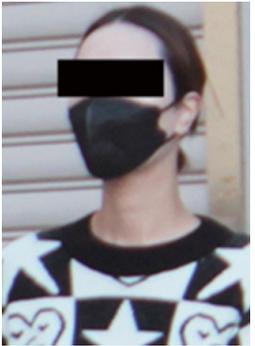
トートバッグ



ハンドバッグ



2022 OCTOBER CAREER FIELD MARKETING

SHOES				HAT&CAP				
スニーカー	185	67.3%	パンプス	60	21.8%	ベースボールキャップ	11	合計 15
ショートブーツ	16	5.8%	ローファー	14	5.1%	ニットキャップ	3	
合計 275						バケットハット	1	
スニーカー		パンプス		ベースボールキャップ	ニットキャップ	バケットハット		
								
SHORT BOOTS				MASK				
ショートブーツ		ローファー		ホワイト	205	未使用	25	合計 320
				カラー	78	ブラック	12	
				ホワイト		カラー		
								

FIELD MARKETING

OCTOBER 2022

CAREER

– PICTURE LIST –

2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

トレンチコート



トレンチコート ノーカラーコート



ノーカラーコート

テーラードコート



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

テーラードコート



フードコート

ステンカラーコート



ショールカラーコート

フーディジャケット



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

フーディジャケット



ワーク・ミリタリージャケット

ワーク・ミリタリージャケット



シャツジャケット

シャツジャケット



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

テーラードジャケット



スリーブレスジャケット



スリーブレスジャケット



ノーカラージャケット



ノーカラージャケット



カジュアルブルゾン



デニムジャケット



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

デニムジャケット



ライダース・レザージャケット



ライダース キルティングジャケット



ボアブルゾン



スーツ・セットアップ



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

無地カットソー



無地カットソー



無地カットソー



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

無地カットソー



無地カットソー



無地カットソー

柄カットソー



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

柄カットソー



柄カットソー



パーカ

パーカ



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

パーカ



パーカ

カットソーカーディガン



カットソーカーディガン

襟付きカットソー

カットソーベスト



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

C&S ベスト

ニットカーディガン



ニットカーディガン

無地ニット



無地ニット



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

無地ニット

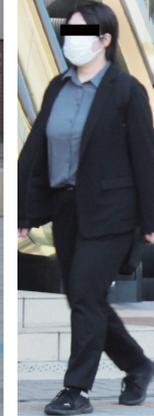


柄ニット



ニットベスト

ニットベスト



無地シャツ

無地シャツ



シアーシャツ

柄シャツ

無地ブラウス

2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

無地ブラウス



柄ブラウス

柄ブラウス

カットソーワンピース



カットソーワンピース

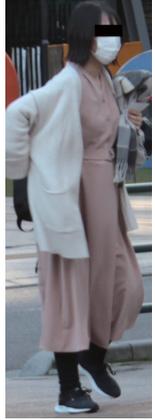
柄ワンピース

無地ワンピース

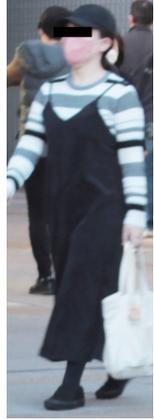


2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

無地ワンピース



キャミソールワンピース



ニットワンピース



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

スキニーパンツ



スキニーパンツ



スキニーパンツ



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

スキニーパンツ



スキニーパンツ



スキニーパンツ

デニムパンツ



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

デニムパンツ



デニムパンツ



デニムパンツ



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

デニムパンツ



ストレートパンツ



ストレートパンツ

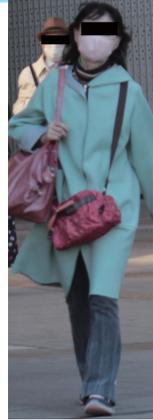


ストレートパンツ



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

ストレートパンツ



ワイドパンツ

ワイドパンツ



ワイドパンツ



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

テーパードパンツ



テーパードパンツ



カーゴパンツ

ショートパンツ

ロング丈スカート



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

ロング丈スカート



ロング丈スカート



ミディ丈スカート

ミディ丈スカート



2022 OCTOBER CAREER PICTURE LIST

ミディ丈スカート



ニーレングススカート



ミニ丈スカート